

# 那珂川 魅力めぐり

## 那珂川とその周辺を歩く散策ルート

- 水鳥とおそひ岸辺の散策と歴史をたどるコース 約5,200m  
番托井堰～城西公園～清美大橋～清水の大橋～塩原中央公園～塩原西公園～熊野道祖神社
- 湯遊コース 約5,000m  
番托井堰～高木橋～三宅中学校～的場橋～筑紫の宮家跡～なのみ通り～熊野道祖神社
- 自然と史跡にふれ 四季を感じる散歩道 約5,800m  
的場橋～井尻橋～五十川塩原大橋～番托井堰～八幡神社～宝満神社～忠魂碑～博多温泉
- 那珂川のせせらぎと歴史のおもいで 約5,300m  
的場橋～下日佐橋～善徳橋～老司井堰～老松神社～老司小学校～野多目中央公園
- 四季を感じるウォーキングロード～善徳橋、真はホテル～ 約6,600m  
宝満神社～忠魂碑～住吉神社～善徳神社～善徳公園～善徳橋～ホテル川～的場橋

### 那珂川左岸資源ルート

**1 橋水園**  
この周辺の河川敷は、遊歩道や水に近づけるような整備が行われています。



**16 清水の大橋**  
福岡上空から眺めた生命力の強い、迫力のあるクスの大木です。



**2 城西公園**  
城西公園には、ムクの大木が並んでいます。遊歩道があり、木製のチップで舗装されています。また、竹下と塩原をつなぐ人道橋「りぼん橋」が架かっています。



**15 塩原堰**  
塩原の由来である海水を煮て、塩を造ったとされる塩原堰が塩原中央公園にあります。



**3 番托井堰**  
江戸中期、木造の井堰であったものを安定した農業用水を行うため、石造の井堰にしたと大庄屋田代作が導き合いました。最初聞き入れられず、後押しを私財を出し、敷き地の提供もあって石造の井堰が完成しました。現在の鉄筋コンクリートの井堰は昭和29年に築かれました。井堰周辺ではカワウなどの水鳥を多く観察できます。



**14 区画整理事業記念碑**  
昭和62年1月に塩原地区区画整理事業完成記念碑として建立されました。この記念碑の下には、2037年に開く予定のタイムカプセルが埋められています。



**4 高木橋**  
高木校区と塩原校区を結ぶ人道橋で、橋からの眺望がよいです。冬には、橋の周りをたたくのユリカモメが飛び交っています。



**13 熊野道祖神社**  
昭和12年に、熊野神社と道祖神社が合併され、熊野道祖神社の地に、熊野道祖神社として、立派な神殿が建立されています。



**12 筑紫宮家の跡**  
大和朝廷の九州での拠点機能強化のために設置された築紫宮家跡であり、その中心が善徳宮八幡宮周辺とされています。



**11 鹽取地蔵のクスの木**  
国道385号にそびえるクスの大木は、樹齢300年になるといわれ、道路拡張工事に際して、地元熱心な関係者により、切らずに残りました。



**6 的場橋**  
三宅校区と横手校区を結ぶ人道橋です。



**10 野多目中央公園**  
約1万2千平方メートルという広大な面積を持ち、多くの人々に利用されています。公園内施設する前の熊野道祖神社は、旧石器、縄文、弥生、古墳、古代と、それぞれの時代の遺跡が発見されました。これらの遺跡は盛り上げて、公園の下に保存されています。



**7 老司川周辺(老司二丁目)**  
老司川周辺には、石橋や築140年ほどになる古民家など歴史的な建物や史跡を生かす中からみつけられることができます。



**9 お大日様と保存樹**  
百年ほど前から、水遊びをする村の子どもの水難災害や疫病などの守護神として老司井堰の橋に祀られているお大日様として親しまれているお大日如來様です。また、井堰の傍らに樹齢約300年の唐戸のエンキとして親しまれている保存樹があります。



**8 老司井堰**  
この井堰の起源は不明ですが、下流の番托井堰(宝暦10年改築)より、井堰自体は古いようです。昭和29年に再築され、現在では一部を残して近代的な井堰となっています。



### 那珂川右岸資源ルート

**17 井尻橋下流**  
井尻橋下流の左岸側の河川敷は原っぱになっており、カモなどの水鳥を近くで観察することができます。



**26 八幡神社**  
昔から泉隈守の氏神として五穀豊饒、厄よけ、開運、家内安全等、大願成就の神として信仰の中心でした。境内には、産が弱気味の玉に後々のムクロジの木があります。



**18 那珂川河野公園(防備橋右岸)**  
防備橋右岸は、公園として整備されており、クンザクラ(黄緑色の花が咲く)など多品種の花見の名所の一つです。また、多くの水鳥を観察できたり、イカダ漁などのイベントも行われています。



**25 水門・水溜**  
高木校区を流れる水路には水門が多くあります。



**19 ホテル川**  
自然観察水路(通称:ホテル川)は、計画から仕上げの工事まで、住民と行政が知恵と力を合わせ、118年7月につくりました。現在、ホテル川が飛ぶ水路となるよう、皆で見守り続けています。また、水辺の生き物の身近な観察の場にもなっています。



**24 博多温泉の碑**  
昭和44年に温泉が湧き出し、博多温泉神社の地を元祖元湯といわれています。博多温泉は、都市圏最大の温泉として、県下でも有数の温泉地であり、現在、清流那珂川の中流域に4件温泉施設があります。



**20 善徳公園と那珂川河野公園**  
善徳公園には、地名由来があり「お地蔵公園」と呼ばれてきました。紅葉の時期はイチョウがきれいです。また、那珂川河野公園には桜並木があり、花見の名所となっています。



**23 忠魂碑(ちゅうこんひ)**  
背後に神社の跡が残り、前面に打ち込まれた原形なイチョウの碑があり、その中心に忠魂の碑が立っています。春は桜が咲き、花見の名所となっています。



**21 善徳神社**  
天神にある善徳神社と当地の善徳神社は、同じ神が祀られており、善徳神社は、当地の氏神であるばかりか、旧福岡藩(藩)の氏神でもありました。境内にあるクヌギの木は、百年に一度といわれる花が咲いたそうです。



**22 住吉神社**  
非常に古く、格式の高い神社です。現在の社殿は、旧社殿が大正4年の火災によって全焼したため、同6年に再築したものです。昔から樹齢とし、現在でもクヌギイチョウの大木がみられます。



### 凡 例


